

議事概要

○委員会名	令和6年度第1回 JCHO 湯河原病院地域連絡協議会
○開催日時	令和6年12月19日(木) 11:00~12:00
○開催場所	湯河原防災コミュニティーセンター 206会議室
○委員(外部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩本 湯河原町消防署長</li> <li>・梨子本 湯河原町保健センター所長</li> <li>・大野 湯河原町参事(福祉グループ)</li> <li>・荒井 小田原医師会湯河原班班長</li> <li>・秋山 患者代表</li> </ul>
○委員(病院)	<p>星地院長、岩田内科診療部長、田部井看護部長、井澤事務長、松坂地域医療連携室長(看護師長)、工藤主任医療社会事業専門員(事務局)</p> <p>鈴木副看護部長、内山事務長補佐(総務)、奥山事務長補佐(経理)、佐藤事務長補佐(医事)、加藤総務係長、今井地域連携係一般職員</p>
○議題	<p>(1) 病院からの現況等報告</p> <p>井澤事務長よりパワーポイントにより以下について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 委員紹介</li> <li>② 新任院長紹介</li> <li>③ 介護老人保健施設との協力医療機関協定の締結について</li> <li>④ 令和6年度健康セミナー</li> <li>⑤ 当院の運営状況</li> <li>⑥ 地域の自治体からの援助例</li> </ul> <p>(2) 意見交換</p> <p>大野参事</p> <p>他地域の自治体からの援助例は、町というよりも都道府県の取組の一環と思われます。湯河原町は赤字が続いており正直難しいと思いますが、要望書という形では受けることができると思います。</p> <p>荒井班長</p> <p>旧厚生年金病院にいた頃、所属長が集まって前月の経営状況を聞くことがありましたが、その時に赤字であった場合大きく影響していたのが査定でした。</p> <p>かなりの額であったと記憶しており、内容が私たち医師の耳に届いていなかったため、査定については詳細に対応したほうが良いと思います。</p> <p>岩本消防署長</p> <p>救急ですが、昨年度も当署としては最大の救急件数で、稼働している全救急隊が出てしまうということが頻繁にあり、熱海市や小田原市から応援してもらう事案が起きています。その中で湯河原病院さんには年間380件</p>

	<p>ほど受け入れていただいています。</p> <p>先ほども内科医が不在であり救急の受け入れが難しいケースがあると伺いましたが、転院搬送が少し多いと感じており、軽症患者の転院搬送になってしまうと他にも迷惑をかけることになるので、もう少しご検討いただきたいと思います。</p>
岩田部長	<p>当院では、週末に内科医が不在となるため、平日のうちに転院搬送の要請をするケースがあるのは事実です。</p>
岩本消防署長	<p>救急搬送には町民等から様々なご注文もあり、高齢者が多いこともあって、本来であれば救急の対応ではないが、病院を受診したいということで救急搬送依頼となる事案も多くなってきています。救急依頼が重複してしまい、救急車がない状態もあり、転送依頼があっても時間の調整とかもお願いをすることがあることが出てくると思いますのでご了承ください。</p>
星地院長	<p>救急に関しては、特に日中は応需するように医師にお願いしているが、夜間休日は医師不足で応需できないこともあり、本当に申し訳ないと思っています。</p>
梨子本 保健センター所長	<p>町民からですが、湯河原町には眼科の医院が2件あるが、いずれの病院でも白内障の手術ができない状況であるため、JCHOさんの方で眼科の診療・手術を設けてもらいたいという要望がありました。</p>
星地院長	<p>残念ながら当面は難しいと思われます。眼科における医療機器の整備、外来ブースの確保、そして眼科医や視能訓練士の採用など、現状において当院で眼科の開設は困難であると考えています。</p>
大野参事	<p>湯河原町はご存知のとおり高齢化率が現在43%であり、10年後は50%近くまでいくということで高齢者の町になっていくのは明らかになってきています。</p> <p>白内障もそうですが、高齢者に特化した安心した医療が提供できるような体制を整えていただければと思います。</p> <p>介護に関しては町でできますが、医療は役場ではできないので、JCHOさんのような大きな病院にお願いをしなければなりません。その中で最近多いのは認知症、物忘れであります。住民からは予約はしたけれども、診察が2ヶ月先とか3か月先とか聞くこともあります。</p>
星地院長	<p>脳神経外科の予約の件と思われるが、当院では非常勤ですが神経内科医</p>

	<p>が 2 人いますので、そこで対応できないか検討します。</p>
大野参事	<p>子ども支援の方でお願いしたいことがあり、町内の保護者から病児保育の希望を非常に多く聞いております。</p> <p>病院の近くに「まさご保育園」があり、病児保育ができるスペースは確保してあります。例えば、協定を結ばせていただいて相談が来た場合に看護職を派遣してもらうとか、町との協力関係の中で、派遣いただければ「まさご保育園」で預けることができるので保護者は安心すると思います。</p>
田部井看護部長	<p>看護職も非常に不足しており当院だけでの対応は厳しいです。行政と当院だけではなく、地域の医療機関全体でのシステムをつくらないと厳しいと思います。</p> <p>また、幼児療養も難しく、預かっている子の状態が悪いのは看護師で把握はできますが、その後どこに連れて行くかというところまで決める必要があると思います。</p>
大野参事	<p>現在湯河原町とタイ国とで様々な高齢者福祉の取り組みをしており、次年度以降の計画書を提出している状況です。</p> <p>町長の希望としては、このチームの中で現在医師の対応は町外にお願いしておりますが、今後は湯河原病院に入っていただき、オール湯河原で来日された場合の対応や、タイの現地に行ってタイの医師と意見交換を行っていただきたいという構想があります。</p>
秋山患者代表	<p>これまでの話で子供のお世話とか高齢者とありましたが、今高齢者のサービスを町でも取組みされていますが、地域によっては子供も地域でサポートする、潜在看護師さんたちが集まって支援をしているっていう地域も新聞その他で見えております。</p> <p>湯河原町の近隣でも「潜在看護師」さんが結構いらっしゃると思うので、そういう人を上手に活用したシステムを作っていくということもよいのではないのでしょうか。小児科の医師も必要と思います。</p> <p>あと患者の立場での話ですが、患者として来院させていただいて、待合にいますと患者数が増えてきたのかなという感じがしていますが、実際の数値を見ると外来患者数があまり増えていないということで、診療圏について、最近は狭まっているのですかね。</p>
星地院長	<p>全体での外来患者数は減少傾向にありますが、整形外科における診療圏は狭まっていないと思います。整形外科は脊椎と膝は、熱海に小田原、伊豆半島からの患者さんが増えていますが、軽症者はクリニック等への逆紹</p>

	<p>介も推進しておりますので、その影響などから外来患者が減少していると思われま</p>
秋山患者代表	<p>私は熱海の高齢者施設の方に少し関わっています。そこでは利用者の反応も、以前は整形外科で手術となれば、JCHO さんということが聞こえてくる言葉だったのですが、最近はそのが減ってきていると感じます。</p> <p>私も現在の JCHO の中がよく分からないので、JCHO がいいですよということもなかなか言い切れなかったのですが、今後は患者としてそういう話がどんどんできればいいなと思っております。</p>
松坂室長	<p>連携室では今年は渉外活動に力を入れており、伊東方面からも脊椎系の手術やその他の患者さんにも来ていただくよう、広報を行っています。</p> <p>今年は脊椎をアピールしてきましたが、継続的に渉外活動をしていくことが必要と感じます。人工関節センターやリウマチセンターについても、改めて広報活動を始めました。</p>
星地院長	<p>防災のことですが、大災害が起こった時には、平日であれば可能な範囲で対応できるようにしますが、休日については、正直難しい状況です。</p> <p>休日における災害対策本部は保健センターになると思われま</p>
大野参事	<p>この地域でバスの運転手も不足しているということで、バス会社も撤退みたいな話もあるぐらいで、JCHO さんの送迎バスは継続でよいですか。</p>
星地院長	<p>現在のところ継続していく予定です。</p>
荒井班長	<p>協力医療機関の締結によって私どもの特養施設は非常に助かっています。研修後のアンケートで職員が非常に助かった、いい内容だったという結果でした。</p>
○閉会	
井澤事務長	<p>本日は、貴重なお時間をいただき有難うございました。頂戴しましたご意見を今後の参考にさせていただき、地域の皆様と協力して、地域の実情に応じた病院運営を目指したいと考えております。</p> <p>今後ともよろしくお願</p>